

第②類  
医薬品

# ツツプロマイ

## 効能又は効果

- (1)頭痛・歯痛・抜歯後の疼痛・咽喉痛・耳痛  
 ・関節痛・神経痛・腰痛・筋肉痛・肩こり痛  
 ・打撲痛・骨折痛・ねんざ痛・月経痛(生理痛)  
 ・外傷痛の鎮痛
- (2)悪寒・発熱時の解熱

## 用法及び用量

大人(15才以上)……………1回1包  
 1日1回を限度とし、なるべく空腹時をさけて服用すること。

## 成分及び分量 1日量(1包(1g))中

日局 アスピリン……………400mg  
 日局 アセトアミノフェン……………300mg  
 日局 無水カフェイン……………100mg  
 添加物としてリン酸水素Ca、パレイシヨデンブ、CMC-Naを含有する。

## 【注 意】

- 次の人は服用しないこと。  
 (1)本剤によるアレルギー症状を起したことがある人。  
 (2)本剤又は他の解熱鎮痛薬、かぜ薬を服用してぜんそくを起したことがある人。(3)15才未満の小児。(4)出産予定日12週以内の妊婦。
- 服用に際しては、説明文書をよく読むこと。
- 直射日光の当たらない涼しい所に保管すること。
- 配置期限経過後は服用しないこと。

製造販売元 大和合同製薬株式会社

奈良県橿原市川西町632-1  
 お問い合わせ先 0744-27-3325  
 2包入(1包1g) ¥200



配置期限

づつう・はいた



第②類医薬品

非ピリン系

# ツツプロマイ

副作用被害救済制度 ☎ 0120-149-931

## ◆解熱鎮痛薬 ⚠ 使用上の注意

### ⊗ してはいけないこと

(守らないと現在の症状が悪化したり、副作用・事故が起こりやすくなる。)

- 1) 次の人は服用しないこと。
  - (1) 本剤又は本剤の成分によりアレルギー症状を起こしたことがある人。(2) 本剤又は他の解熱鎮痛薬、かぜ薬を服用してぜんそくを起こしたことがある人。(3) 15歳未満の小児。(4) 出産予定日12週以内の妊婦。
- 2) 本剤を服用している間は、次のいずれの医薬品も服用しないこと。  
他の解熱鎮痛薬、かぜ薬、鎮静薬
- 3) 服用前後は飲酒しないこと。
- 4) 長期連用しないこと。

### 🗨 相談すること

- 1) 次の人は服用前に医師、歯科医師、薬剤師又は登録販売者に相談すること。
  - (1) 医師又は歯科医師の治療を受けている人。(2) 妊婦又は妊娠していると思われる人。(3) 授乳中の人。(4) 高齢者。(5) 薬などによりアレルギー症状を起こしたことがある人。(6) 次の診断を受けた人。心臓病、腎臓病、肝臓病、胃・十二指腸潰瘍
- 2) 服用後、次の症状があらわれた場合は副作用の可能性があるので、直ちに服用を中止し、この文書を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談すること。

関係部位	症 状
皮膚	発疹・発赤、かゆみ、青あざができる
消化器	吐き気・嘔吐、食欲不振、胸やけ、胃もたれ、腹痛、下痢、血便、胃腸出血
精神神経系	めまい
その他	鼻血、歯ぐきの出血、出血が止まりにくい、出血、発熱、のどの痛み、背中の痛み、過度の体温低下

裏面につづく

まれに下記の重篤な症状が起こることがある。その場合は直ちに医師の診療を受けること。

症状の名称	症 状
ショック (アナフィラキシー)	服用後すぐに、皮膚のかゆみ、じんましん、声のかすれ、くしゃみ、のどのかゆみ、息苦しさ、動悸、意識の混濁等があらわれる。
皮膚粘膜眼症候群 (ステープルス・ジョンソン症候群)、 中毒性表皮壊死融解症、 急性汎発性発疹性膿疱症	高熱、目の充血、目やに、唇のただれ、のどの痛み、皮膚の広範囲の発疹・発赤、赤くなった皮膚上に小さなブツブツ(小膿疱)が出る、全身がだるい、食欲がない等が持続したり、急激に悪化する。
肝機能障害	発熱、かゆみ、発疹、黄疸(皮膚や白目が黄色くなる)、褐色尿、全身のだるさ、食欲不振等があらわれる。
ぜんそく	息をするときゼーゼー、ヒューヒューと鳴る、息苦しい等があらわれる。
再生不良性貧血	青あざ、鼻血、歯ぐきの出血、発熱、皮膚や粘膜が青白くみえる、疲労感、動悸、息切れ、気分が悪くなりくらっとする、血尿等があらわれる。
間質性肺炎	階段を上ったり、少し無理をしたりすると息切れがする・息苦しくなる、空せき、発熱等がみられ、これらが急にあらわれたり、持続したりする。
腎障害	発熱、発疹、全身のむくみ、全身のだるさ、関節痛(節々が痛む)、下痢、尿量減少等があらわれる。

3) 5～6回服用しても症状がよくなる場合は服用を中止し、この文書を持って医師、歯科医師、薬剤師又は登録販売者に相談すること。

大和合同製薬株式会社

# ツツプロマイ

第②類  
医薬品

## 効能又は効果

- (1)頭痛・歯痛・抜歯後の疼痛・咽喉痛・耳痛  
関節痛・神経痛・腰痛・筋肉痛・肩こり痛  
打撲痛・骨折痛・ねんざ痛・月経痛（生理痛）  
・外傷痛の鎮痛  
(2)悪寒・発熱時の解熱

## 用法及び用量

大人（15才以上）……………1回1包  
1日1回を限度とし、なるべく空腹時をさけて服用すること。

## 成分及び分量 1日量(1包(1g))中

日局 アスピリン……………400mg  
日局 アセトアミノフェン……………300mg  
日局 無水カフェイン……………100mg  
添加物としてリン酸水素Ca、パレイシヨデンブ、  
CMC-Naを含有する。

## 【注意】

- 次の人は服用しないこと  
(1)本剤によるアレルギー症状を起こしたことがある人。  
(2)本剤又は他の解熱鎮痛薬、かぜ薬を服用して  
ぜんそくを起こしたことがある人。  
(3)15才未満の小児。  
(4)出産予定日12週以内の妊婦。
- 服用に際しては、説明文書をよく読むこと。
- 直射日光の当たらない涼しい所に保管すること。
- 配置期限経過後は服用しないこと。

製造販売元 大和合同製薬株式会社

奈良県橿原市川西町632-1  
0744-27-3325

2包入(1包1g) ¥200

配置期限



副作用 痛風 救急 電話 0120-149-931

強

ぶつう

はいた

強



頭痛・歯痛・神経痛



# ツツプロマイ

非ピリン系

第②類医薬品

悪寒・発熱時の解熱

肩こり痛・筋肉痛

強

強

## ◆解熱鎮痛薬 ⚠ 使用上の注意

### ⊗ してはいけないこと

(守らないと現在の症状が悪化したり、副作用・事故が起こりやすくなる。)

#### 1) 次の人は服用しないこと。

(1) 本剤又は本剤の成分によりアレルギー症状を起こしたことがある人。(2) 本剤又は他の解熱鎮痛薬、かぜ薬を服用してぜんそくを起こしたことがある人。(3) 15歳未満の小児。(4) 出産予定日12週以内の妊婦。

#### 2) 本剤を服用している間は、次のいずれの医薬品も服用しないこと。

他の解熱鎮痛薬、かぜ薬、鎮静薬

#### 3) 服用前後は飲酒しないこと。

#### 4) 長期連用しないこと。

### 🗨 相談すること

#### 1) 次の人は服用前に医師、歯科医師、薬剤師又は登録販売者に相談すること。

(1) 医師又は歯科医師の治療を受けている人。(2) 妊婦又は妊娠していると思われる人。(3) 授乳中の人。(4) 高齢者。(5) 薬などによりアレルギー症状を起こしたことがある人。(6) 次の診断を受けた人。心臓病、腎臓病、肝臓病、胃・十二指腸潰瘍

#### 2) 服用後、次の症状があらわれた場合は副作用の可能性があるので、直ちに服用を中止し、この文書を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談すること。

関係部位	症 状
皮膚	発疹・発赤、かゆみ、青あざができる
消化器	吐き気・嘔吐、食欲不振、胸やけ、胃もたれ、腹痛、下痢、血便、胃腸出血
精神神経系	めまい
その他	鼻血、歯ぐきの出血、出血が止まりにくい、出血、発熱、のどの痛み、背中での痛み、過度の体温低下

裏面につづく

まれに下記の重篤な症状が起こることがある。その場合は直ちに医師の診療を受けること。

症状の名称	症 状
ショック (アナフィラキシー)	服用後すぐに、皮膚のかゆみ、じんましん、声のかすれ、くしゃみ、のどのかゆみ、息苦しさ、動悸、意識の混濁等があらわれる。
皮膚粘膜眼症候群 (スティーブス・ジョンソン症候群)、 中毒性表皮壊死融解症、 急性汎発性発疹性膿疱症	高熱、目の充血、目やに、唇のただれ、のどの痛み、皮膚の広範囲の発疹・発赤、赤くなった皮膚上に小さなブツブツ(小膿疱)が出る、全身がだるい、食欲がない等が持続したり、急激に悪化する。
肝機能障害	発熱、かゆみ、発疹、黄疸(皮膚や白目が黄色くなる)、褐色尿、全身のだるさ、食欲不振等があらわれる。
ぜんそく	息をするときゼーゼー、ヒューヒューと鳴る、息苦しい等があらわれる。
再生不良性貧血	青あざ、鼻血、歯ぐきの出血、発熱、皮膚や粘膜が青白くみえる、疲労感、動悸、息切れ、気分が悪くなりくらくとする、血尿等があらわれる。
間質性肺炎	階段を上ったり、少し無理をしたりすると息切れがする・息苦しくなる、空せき、発熱等がみられ、これらが急にあらわれたり、持続したりする。
腎障害	発熱、発疹、全身のむくみ、全身のだるさ、関節痛(節々が痛む)、下痢、尿量減少等があらわれる。

3) 5～6回服用しても症状がよくなる場合は服用を中止し、この文書を持って医師、歯科医師、薬剤師又は登録販売者に相談すること。

大和合同製薬株式会社